

平成30年度第6回 静岡県作業療法士会理事会 議事録

1. 開催日時 平成31年2月23日 午後1時00分～5時07分
2. 開催場所 公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町9-5 第二大石ビル8F）
3. 出席者
理事総数 15名
出席理事 12名
代表理事 秋山 恭延（議長）
理 事 三井 忍 岩井 幸治 林 正春 大石 裕也 勝又 和也 村岡 健史
建木 健 齊藤 洋平 伊井 玄 岡本 博行 大庭 俊裕
監 事 遠藤 浩之
4. 決議事項
第1号議案 部局再編成の件（継続審議）
第2号議案 平成31年度予算案について
第3号議案 総会、役員選挙の件
第4号議案 外部団体からの委員、会議、式典出席の依頼について
第5号議案 臨時理事会理事会開催の件
第6号議案 第19回東海北陸作業療法学会
その他（各部局からの決議事項）
5. 報告事項
報告第1号 各部報告（職務執行状況の報告）
報告第2号 その他
6. 開会
事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。
7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）
第1号議案 部局再編成の件（継続審議）
 - 1) 地域活動推進部と事業部は統合、新たに「地域事業部」となる。
 - 2) 学術部は明日学術部会議を開催し審議する。
第2号議案 平成31年度予算案について
 - 1) 教育部：
・事業の再分化の指示を受けて修正をしている。
・バーコードリーダー方式導入に向けてパソコン6台を購入希望。
⇒ 今年度内に2台購入することで承認。
 - 2) 各部決算報告を3月10日までに提出。
第3号議案 総会、役員選挙の件
 - ・総会議案集：各部局3月18日までに事業報告・計画完了すること。
 - ・各議案の決議：「賛成多数」など議長の裁量とする。
 - ・当日の実行委員：東・中・西部各5名ずつ選出
 - ・参加費：無料とする。連盟の寄付金や会費は連盟で実施。
 - ・懇親会：ホテルシティオ静岡「ペントハウスニール」17:30～開始で調整
 - ・研修会：2020年の指定規則改正で学校教育や臨床実習の条件が変わるため、その内容説明や現場目線での話等内容を検討。
ポイント付与対象の研修会として、教育部事業で行う。

第4号議案 外部団体からの委員、会議、式典出席の依頼について

- 1) 静岡市介護認定審査会委員の推薦：5名 岡庭隆門氏、大石裕也氏、片桐利康氏、勝又真理氏、中村哲朗氏
- 2) 静岡市障害支援区分認定審査会委員の推薦：1名 岡庭隆門氏
- 3) 三島市介護認定審査会委員の推薦：2名 山下佳代氏、岡本曜祐氏
- 4) 伊豆の国市介護認定審査会委員の推薦：1名 川口典宏氏
- 5) 沼津市障害支援区分認定審査会委員の推薦：2名 ピリ睦氏、鈴木亮太氏
- 6) 浜松市介護認定審査会委員：秋山恭延氏継続
- 7) 2019年OT協会代議員選挙運営委員の推薦：岡本博行氏

第5号議案 臨時理事会開催の件：3月21日（木・祝）13：00（AM 予算作成）

第6号議案 第19回東海北陸作業療法学会

- 1) 講師、シンポジスト、座長への謝金関連について表で提示。
県士会ルールにするか否かについて、各地区学会で懐事情がある反面、今学会は積み立てもある。必ず独立採算ではなくても良い。規程に則り進めて行く。（秋山）
⇒ 謝金を出す際に県士会事務局へ相談。
- 2) レセプションについて：運営局のレセプション担当がおり会場や料理等は進めている。
⇒ 福利部の立ち位置としては、当日の進行、収支の処理

その他（各部局からの決議事項）

- 1) 元号の記載方法：平成31年5月より新元号となる。
⇒ 来年度は平成31年度で諸々記載していく。
- 2) 来年度重点項目：事務局機能の強化、地域でOTが活躍できる体制作り、MTDLP、精神科・発達障害の事業推進、子育て世代への支援
- 3) 第33回学会：実行委員の公募可否 ⇒ 学会の裁量とし、委員には施設許可条件を課す。
- 4) 広報部：一般向け広報誌作成。承認後印刷開始 ⇒ 一部修正し承認
社章作成：2社の見積もり提出（勘定項目を変更）。ティーケーピーの見積もりもとる。
- 5) 地域活動推進部：来年度の地域事業部発足に向け現行役員は解任することで承認。
市町代表者の地域ケア会議参加の報告について統合後どうするか
⇒ 3団体協議会へ移管
- 6) 表彰委員会：優秀学生表彰候補者：各養成校1名ずつ（計4名） ⇒ 承認
平成31年度県士会表彰者：中村俊彦氏、伊藤信寿氏、高林俊光氏で承認

8. 報告事項

報告第1号 第19回東海北陸作業療法学会

報告第2号 各部報告（職務執行状況の報告）

- 1) 学術部：各種研修会開催。2月24日学術部会議開催。
- 2) 教育部：OT協会のバーコードリーダー方式2020年度より導入決定。
MTDLP推進委員の選出：村岡理事継続
新人オリエンテーション：4月21日（日）グランシップ
MTDLP：来年度基礎研修1回、事例検討会は3事例集まったら開催とする。
- 3) 災害対策委員会：静岡災害リハ実務者研修会2月9日開催しOT14名参加。
静岡JRATの活動について報告
- 4) 第33回学会：学会テーマ「糸」に決定（紡ぐイメージ）
- 5) 渉外部：47委員会、各養成校の卒業式、入学式の出席理事調整
- 6) 福利部：現行の静岡OTリーダー育成研修会の改名を提案（来年度は1日開催）
参加者から話してもらうような内容も良いのでは。
- 7) 事業部：作業療法体験デー、出前事業。もうひとつの高校生選手権の募集など活動実施
4月13日浜松フラワーフェスタに参画
- 8) 調査部：調査部員を4名として役割編成を行った。

9) 地域活動推進部 (各 WG より)

- ①精神障害：県主催の精神障害者の地域移行：士会より 5 名運営協力
 - ②認知：学術部統合後のアップデート研修会運用は、2 月 24 日の学術部会議で検討。
 - ③モビリティ：3 月上旬に研修会の開催依頼があった。藤枝市の施設の共催依頼があり公安委員会の参加も要請してはと提案があった。地区の勉強会としての範疇を超えたため辞退するようにした。
 - ④生活行為情報モデル事業：3 年間で事例 1,119 件集まった。今後も事例登録収集や開示・公開のシステムを作っていく。
- 10) 法人管理委員会：資産取得資金の開始 (要申請)。今後審議
 特定費用準備資金：学会残金について、使い切ることが原則だが
 次学会へ繰り越すことも可能。
 ⇒ 第 17 回東海北陸学会の支出みながら今後の資金計画を立てる。
- 11) 訪問リハ委員会：3 団体協議会より東中西部代表者を選出することが決定
 ⇒ 中部地区のみ未選出
- 12) 事務局：2 月末より会費再請求書発送と来年度の会費請求書発送
 未納者への対応：協会システムに連動しているため県士会のみ未納者も会員扱いとなる。協会＝士会強化について県士会の意見を 47 委員会へ挙げる。
 各部局部員への委嘱状申請依頼・承認承諾書の受理 ⇒3 月 20 日までに提出

報告第 3 号 その他

- ・財務部より：今年度の活動が終了したら締めて収支報告を事務局へ行うこと。
 備品購入など事前に報告して補正予算を掛けてほしい (勘定科目でどこの科目の変更が起こるか知るため)。

平成 30 年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第 1 回	4 月	15 日 (日)	新人オリエンテーション時	
第 2 回	6 月	30 日	拡大理事会	
第 3 回	8 月	25 日	納涼会	
第 4 回	10 月	14 日 (日)		
第 5 回	12 月	22 日	拡大理事会、忘年会	
第 6 回	2 月	23 日		2～3 日 (47 委員会)
臨時理事会	3 月	21 日 (木・祝)	年度末の会計	

9. 議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後 5 時 07 分、閉会を宣言した。
 以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者 武内元